

平成 23 年度

年金制度のポイント

厚生労働省 年金局



2011

はじめに

「年金」というと、皆様はどのようなイメージをお持ちでしょうか。安心の老後を迎えるために必要な不可欠なもの、一方で制度が複雑で取り付きにくいものと様々な印象をお持ちなのではないでしょうか。

年金制度とは、高齢期に達するなど給付の要件を満たした方に対して、定期的に一定の金額を給付する仕組みのことです。制度の性格により、国が運営し国民に加入義務のある公的年金と、個人や企業の選択で加入する私的年金に分かれます。また、公的年金には、給付の要件によって、老後の生活を支える老齢年金、障害を負ってしまった方の所得を保障する障害年金、生計者が死亡した時に家族に支払われる遺族年金があります。

わが国の年金制度の中核である公的年金制度は、社会保険の仕組みであり、やがて訪れる長い老後や、生活の安定を損なうような“万が一”の事態に備え、保険料を出し合ってお互いを支え合う制度です。その財源は、被保険者の皆さまからいただく保険料と国庫負担（税金）から成り立っています。また、保険料による積立金を運用し、その収益も将来の年金給付に充てています。

このパンフレットは、公的年金制度を中心に、年金制度のポイントをまとめたものです。

第1章から第5章までは、公的年金制度の仕組みについて解説しています。

第1章では、公的年金の意義と役割について解説しています。

第2章では、公的年金の制度体系や、給付額の目安、公的年金制度の財政の仕組みについて解説しています。

第3章及び第4章では、公的年金制度の対象者（適用・資格要件）、被保険者が納付する保険料の水準や免除要件、年金の支給要件・給付額等について、解説しています。

第5章では、年金積立金の運用について解説しています。

公的年金制度においては、海外に赴任する方が、自国と赴任先で二重に保険料を負担する必要がないよう、諸外国との間で社会保障協定の締結を進めています。

第6章では、こうした社会保障協定の締結状況及び年金制度の国際比較について解説しています。

第7章では、私的年金の一例として、公的年金に上乗せして年金給付を受けることのできる企業年金等の仕組みについて解説しています。

さらに、参考資料として、公的年金制度における直近の財政検証の結果や公的年金制度の運営業務を担当する日本年金機構の概要を掲載しています。

ご覧いただいています皆様に、年金制度にご興味をお持ちいただくとともに、ご理解を深めていただければ幸いです。

目次

第1章 公的年金の意義と役割

- 1 少子高齢化の進行と年金の役割 4
- 2 公的年金の基本的考え方 7

第2章 公的年金制度の概要

- 1 公的年金の制度体系 9
- 2 公的年金の給付金額 12
- 3 公的年金の財政 13

第3章 公的年金の適用と保険料

- 1 公的年金の加入者 14
- 2 公的年金の保険料 14
- 3 将来の保険料水準の固定 16
- 4 国民年金の保険料免除 17

第4章 年金の支給要件と年金額

- 1 老齢基礎年金・老齢厚生年金 20
- 2 障害基礎年金・障害厚生年金 24
- 3 遺族基礎年金・遺族厚生年金 26
- 4 国民年金・厚生年金におけるその他の給付 28

第5章 年金積立金の運用

- 1 年金積立金の意義 29
- 2 運用の仕組みなど 30

第6章 社会保障協定

1	社会保障協定の意義	33
2	社会保障協定の締結等の状況	33
3	二重負担の防止	33
4	加入期間の通算	33
5	年金制度の国際比較	34

第7章 企業年金制度等

1	企業年金等の意義	35
2	確定給付型と確定拠出型	35
3	厚生年金基金の現状	37
4	確定給付企業年金の現状	39
5	確定拠出年金の現状	41
6	国民年金基金の現状	43

参考資料（平成 21 年財政検証結果）

1	平成 16 年年金制度改正における給付と負担の見直し	45
2	財政検証の諸前提	46
3	厚生年金の財政見通し	47
4	国民年金の財政見通し	48
5	給付水準の将来見通し	49
6	年金額及び所得代替率の見通し（標準世帯）	49

参考資料（日本年金機構）

1	日本年金機構の設立（社会保険庁改革等の経緯）	50
2	日本年金機構の中期目標及び中期計画	50
3	日本年金機構におけるお客様サービスの基本方針	53